シーガーフィールドテスター釣行会 難敵、東京湾のタチウオ釣りに挑む！

Seaguar Always the best

シーガー7人衆のライン戦略

★この日集まったシーガーフィールドテスターの皆さん。ジャンルは違えどタチウオ釣りには自信あり!?

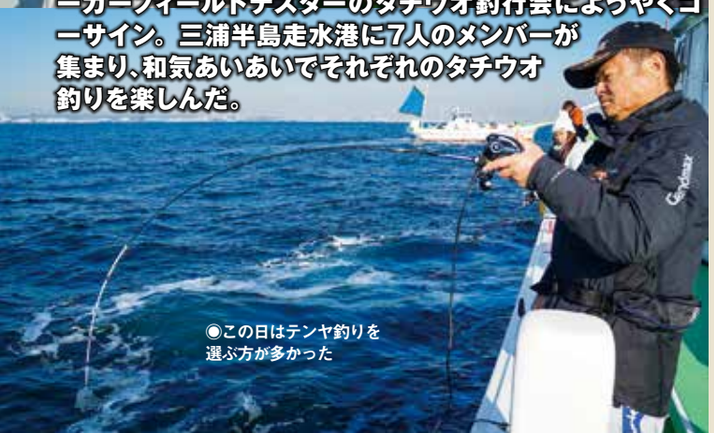
攻略の鍵は精鋭たちのライン選択 最強ラインシーガーの使いこなし術

三浦半島走水港出船より

◉復調気配のタチウオ、当然ながら全員が指幅4～5本サイズをキャッチ

◉走水港の教至丸を仕立てての釣り。大型船に7人でゆったり

◉あれだけ釣れ盛っていた東京湾のタチウオが、年末年始にかけて急降下。しばらくは復活も難しいかと思われたが、1月中旬より再び上昇気配。機会をうかがっていたシーガーフィールドテスターのタチウオ釣行会にようやくゴーサイン。三浦半島走水港に7人のメンバーが集まり、和気あいあいでそれぞれのタチウオ釣りを楽しんだ。



◉この日はテンヤ釣りを選ぶ方が多かった

すべての釣りジャンルに数多くの著名人をそろえるシーガーフィールドテスター、船釣り分野でも10名近くのメンバーが日々フィールドで活躍している。今回は船釣りのテスター7人を集めて行われたタチウオ釣行会の模様をお届けする。

普段はそれぞれが得意な釣り物を受け持っているだけに、タチウオは得手不得手もある混合メンバーでの釣行。和気あいあいムードでの出船となったが、どんな仕掛けでどんな釣り方を見せてくれるかも興味深いところ。

シーガー7人衆のライン戦略

鈴木 新太郎 Shintaro Suzuki

◎釣法：テンヤ
◎ライン：PEX8 1号
シーガーグランドマックスFX8号2m（バイトリーダー・シーガーFXR船16号30cm）

★「道糸は強度から見ても1号で十分ですが、リーダーとの接続はしっかりと。軟らかめなライン同士の組み合わせは結びやすく、強度も十分です」

吉岡 進 Susumu Yoshioka

◎釣法：テンヤ
◎ライン：PEX8 1.5号
シーガーグランドマックス5号2m（バイトリーダー・プレミアムマックス22号60cm）

★「硬めの竿を使っても合わせ切れしない1.5号の道糸、リーダーには22号のバイトリーダーを付けることでミスバイトにも耐えてくれます」

晴山 由梨 Yuri Hareyama

◎釣法：テンヤ
◎ライン：PEX8 2号
シーガーグランドマックスFX8号1.5m

★「普段から愛用している道糸とリーダーの組み合わせです。とくに滑らかでも強度のあるFXは信頼のライン、そのおかげで竿頭になっちゃいました」

中村 透 Tooru Nakamura

★「今日はテンビン釣りで通しました。6号と7号を用意したけど、6号で間に合っちゃったな。滑らかで強いFXは私の大好きなラインです」

◎釣法：テンビン
◎ライン：PEX8 2号
シーガーグランドマックスFX6号2m

粕川 晃 Akira Kasukawa

◎釣法：テンヤ～テンビン
◎ライン：テンヤ PEX8 1号 シーガーグランドマックスFX4号3m（バイトリーダー・シーガー船ハリス10号1.5m）。テンビン／シーガーFXR船7号2m

▶テンビン
▼テンヤ

★「道糸は立ちがいいので1号を使ってます。リーダーの先には船ハリス、屈折率が水に近く透明性があるからです。テンビン用は信頼のFXR船のみです」

大山 雅幸 Masayuki Oyama

◎釣法：テンヤ
◎ライン：PEX8 1.5号 シーガーグランドマックス6号3m（バイトリーダー・同FX 10号50cm）

★「道糸1.5号は常磐方面の色いろな釣りにも対応してくれます。茨城方面でタチウオを釣るときもこのラインの組み合わせでまったく問題ありません」

今井 寿美礼 Sumire Imai

◎釣法：テンヤ
◎ライン：PEX8 1号
シーガー FXR 船8号2m

★「道糸はテンヤが潮の抵抗を受けづらい1号を使いました。リーダーのFXR船は衝撃に強く、軟らかさもあるので使いやすいんです」

◉Presented by Kureha Gohsen　問い合わせ／クレハ合繊（株）☎03・3249・4654

▲タチウオならまかせろとばかり鈴木新太郎さんが幸先よく竿を曲げる
▶吉岡さんはルアーのテイストを生かした釣り方で

▲走水～猿島沖の60～65メートルダチを狙った
▼中村透さんは唯一、終日テンビン釣りで狙った

▲この日の竿頭と最大を釣ったのが晴山由梨さん、フワフワ釣法が当たった!?
▼テンヤ釣りも得意な吉岡進さん

乗船したのはタチウオファンにはおなじみの三浦半島走水港の教至丸（のりゆき）。仕立ということで各自釣り方は自由だが、仕掛けだけは自作というルール。

澄んだ青空に北の微風という絶好の釣り日和。船は7時15分に港を離れるとすぐにポイント着。走水沖60～65メートルダチで釣り開始となった。

まずは各自の釣り方が見ものではあったが、中村透さんのテンビン釣り以外はテンヤ釣り。ルアーのテスターでもある吉岡進さんも、今日はテンヤ釣りでの挑戦だ。ライン、号数、長さが人によって多少の違いがあるのもおもしろいところだが、それぞれに理由があっての使用だ。

開始直後から各所にアタリ到来。鈴木新太郎さん、大山雅幸さん、粕川晃さん、晴山由梨さんのテンヤ釣り、やや遅れて吉岡進さん、テンビン釣りの中村透さんにもアタリがきて、それぞれが指幅4本サイズを取り込んだ。朝の好時合か、アタリからハリ掛かりまではいずれもスムーズなようだ。

この時点でのテンヤでの釣り方は大きく分けて2通り、鈴木さんのタナを探りながらのバイブレーション釣法、吉岡さんのジャークとステイを織り交ぜたジギングに近い釣り方だ。

朝の好タイムが過ぎるとアタリは散発的になる。その中で一人気を吐いているのが晴山由梨さんだった。一段落して皆がのんびり釣っているときでもバシバシと掛け、ついには当日最大となる指幅6本サイズ、加えて13本の釣果で竿頭にもなってしまった。

晴山さんは竿をフワフワとさせながらデッドスローで巻き上げていく釣り方。当日はこの釣り方がマッチしたようで、ここまで型見ずだった今井寿美礼さんもこれに見習ってすぐに初物をキャッチ、船中オデコなしとなった。

その後も各自が思い思いの釣りを楽しみ、昼過ぎに沖揚がり。メンバー同士、久しぶりの同船だったこともあり、釣りより釣り談議が優先するなごやかな一日だった。

詳細動画はコチラ!

★当日の模様は「シーガーチャンネル」でご覧になれます。

https://www.youtube.com/c/SeaguarChannel

◉取材協力／三浦半島走水港 教至丸 ☎080・7127・0816（詳細は巻末の情報欄参照）